

広報
9月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集 広報部



紅葉と階段

〈 主 な 内 容 〉

時の視点

古紙の市況について 直納部長 赤染清康 2~3

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会 4~6

東京返本加工協同組合 第49回 通常総会開催 6~8

清風会研修会及び納涼会 事務局 8

直納部委員会及び納涼会 事務局 8

支部便り

納涼会開催

文京支部 文京支部長 齋藤浩二 8~9

台東支部 台東支部 近藤達也 9

城南支部 城南支部・組合相談役 坂田秀一郎 9

江墨支部 江墨支部 木内茂樹 9~10

千代田支部 千代田支部長 近藤正彦 10

組合員の広場

組合事業紹介・事業部 10

共同購入についてのお知らせ 11~12

支部スケジュール

11~12

お知らせ

「10月会議・催事予定」「古紙価格」「組織変更」[訃報] 12

会議概要〔6月・7月〕

12~20

広報誌掲載の広告募集について 20

広報誌 表紙写真募集の件 広報部 20

編集後記 広報部副部長 武田誠一郎 21

広告 22~26

時の視点

古紙の市況について



直納部長 赤染清康

古紙の市況につきまして、現在の状況及び今後の見通しについて述べさせていただきます。

まず裾物の新聞・雑誌は総じて発生が低調です。8月の天候不順と大雨による影響が大きく、発生は前年割れが続いております。

新聞の発行部数低迷やチラシの大幅な減少、IT化に伴う雑誌を始めとする出版物の減少もポディブローのように効いています。

メーカーの印刷情報用紙、新聞用紙の生産の減少により、当然のことながら発生も落ちてきています。

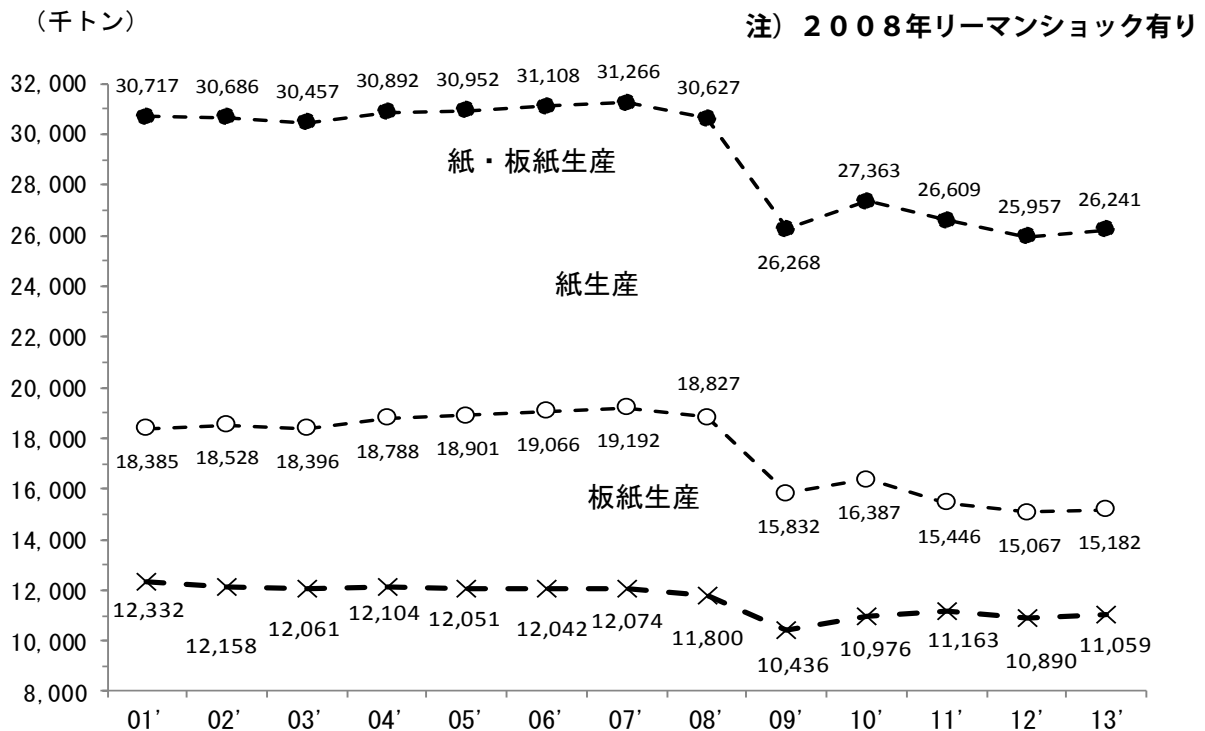
段ボールの消費税増税後の反動は落ち着いてきた感もありますが、全体的に生産は前年比100%を少し超える程度です。一部製品は値上げに向け生産調整に入っており、古紙の発生は低調です。また古紙の内外格差も解消されない中、東北地区の新マシン稼働や8月の大雨により、各メーカーはいずれも古紙の調達に苦慮している模様です。

家庭紙については、消費税増税の影響はさほどなく、値上げにより200円以下のトイレット・ペーパーの低価格帯はなくなりつつあります。製品在庫が多少だぶつくメーカーもありますが、秋需に対応した古紙調達には慎重姿勢を崩していないメーカーが多いようです。

輸出については8月中旬ぐらいまでは、米国港湾のスト回避や中国では白板等の製品市況が悪く、又、富陽地区を中心として中小メーカーの政策的統廃合が多く古紙の購買意欲が低下しておりましたが、秋の白板需要等により、購買意欲が戻りましたが、秋の白板需要等により、購買意欲が戻り、ONP（新聞）、MIX（雑誌）を中心に緩やかな強含み基調となりつつあります。

総じて、今年度は秋から年明けまでは古紙市況はタイトに推移するものと思われます。また、そ

図1 紙・板紙の生産推移

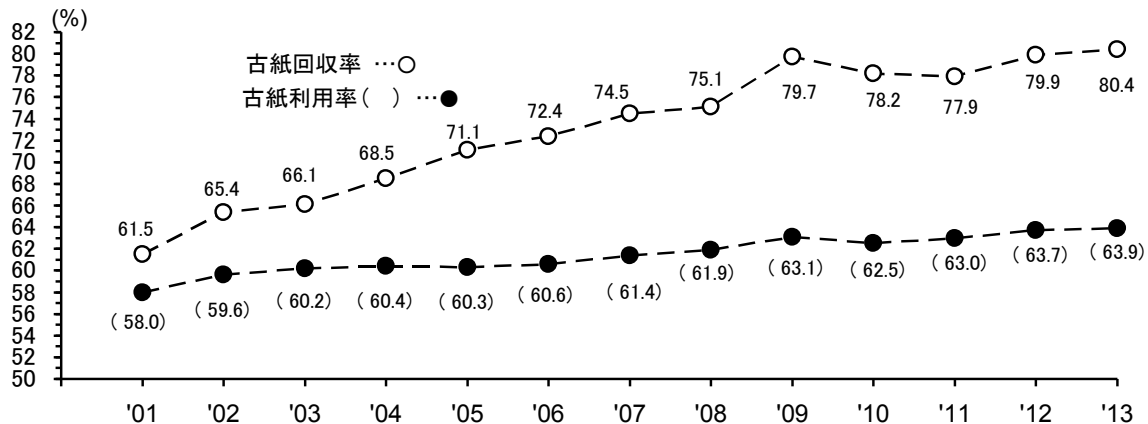


(資料：紙・パルプ統計年報、紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計年報、経済産業省生産動態統計年報)

の分、仕入競争は古紙業界で厳しさを増すものと
 予想されます。
 適正利潤の確保がこれから増々重要になると思わ

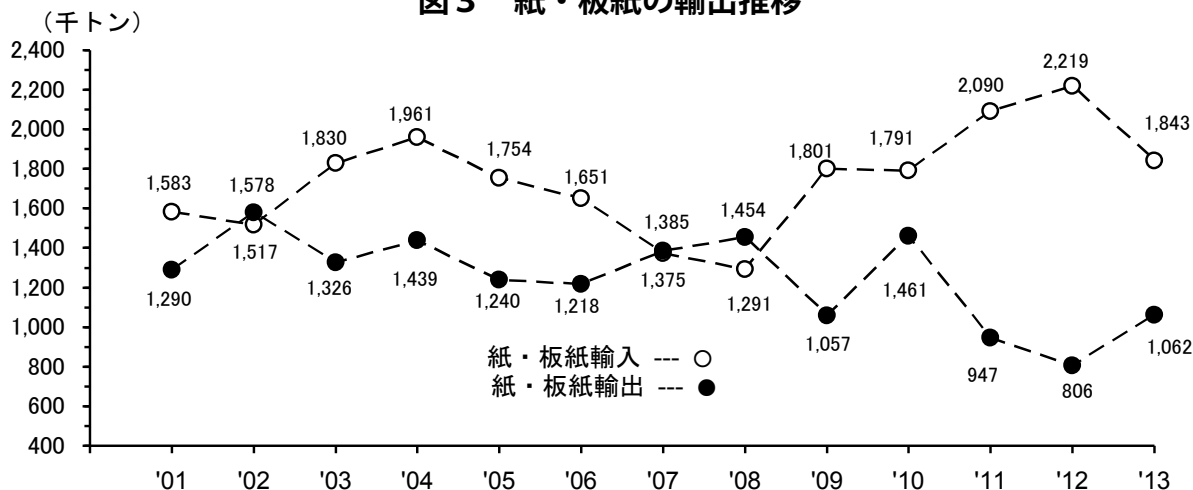
れます。「安定なくして繁栄なし」ということを
 忘れてはなりません。

図2 古紙回収率・利用率の推移



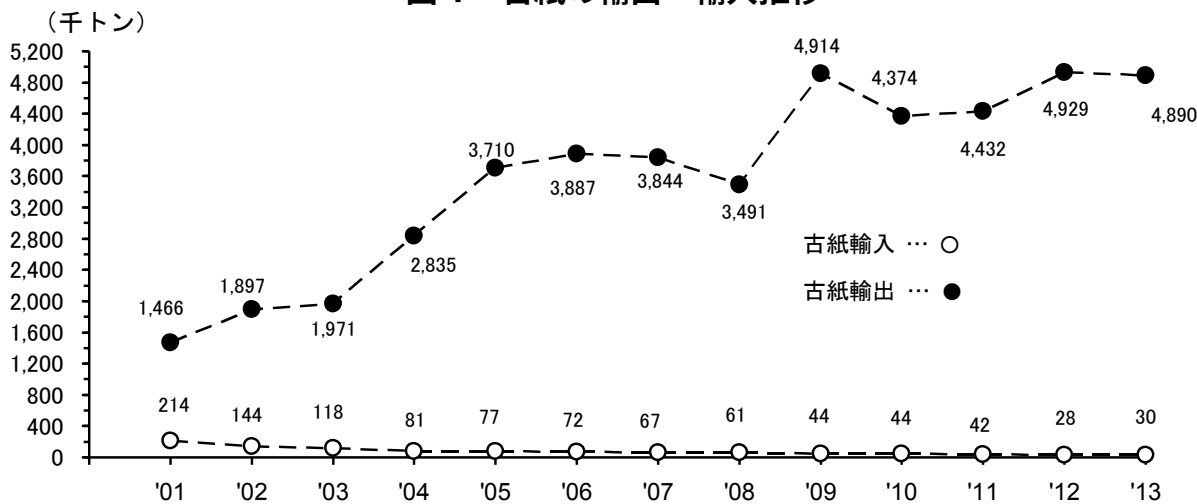
(資料：紙・パルプ統計年報、紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計年報、経済産業省生産動態統計年報、財務省貿易統計)

図3 紙・板紙の輸出推移



(資料：財務省貿易統計)

図4 古紙の輸出・輸入推移



(資料：財務省貿易統計)

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

平成26年6月23日(月)午後2時00分～
於)富士工業技術支援センター

出席者: 静岡県紙業協会家庭紙部会 21名
(内、家庭紙メーカー17名)
静岡県製紙原料商業組合 12名
東京都製紙原料協同組合 10名

三団体代表挨拶

イデンギョー(株)井出会長

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

トイレットペーパーの製品在庫は、4月が前年対比で大手87.5%、中小85.4%。5月は前年対比で93.7%大手% 中小92.7%と4月に比べると在庫が増えてきた。出荷が悪かった原因は、消費税増税前はメーカーに製品在庫が十分になく、又、トラックの輸送手配が出来ず、このような結果になってしまった。紙問屋は小売店に対して供給責任があるため輸入製品を増やした。3月は前年対比31.4%増、4月は47.3%増と、大幅な輸入をしたため5月～6月に影響が出てしまった。6月後半から出荷が良くなってきている。原料の方も、これからは出ていくと予想される。

近藤理事長 [東京都製紙原料協同組合]

17年ぶりの消費税増税によって仮需、反動と大変大きな節目となった4月から2か月が経過しました。今後の環境がどうなっていくのか大変懸念している所ですが、家庭紙業界様に於かれましては昨年から取り組んでいる値上げが漸く通り、

もう一段の値上げに現在取り組んでいるとの事で大きく従来とは違う環境となってきたのかなと感じているところです。

産業古紙の業界は3月までは仮需も含め発生期という事で、それなりの動きはありましたが4月以降、ぱったりと止まり、厳しい発生状況が続いております。印刷、製本業界の縮小によって我々組合員も廃業が依然として続いております。上物古紙は先進国のIT化により世界的に発生が減少しているようで、海外での需要は大変旺盛となっていて、4月以降、新聞、段ボールなどの主要3品の輸出価格が調整局面に入っている中で、依然、堅調な動きとなっています。

今後、私達も国内メーカーさんへの安定供給を第一に責任ある仕事をして行きたいと考えておりますが、その少ない原料で製造している家庭紙製品の価格を今後も大切に、適正価格、安定価格帯へ持って行って頂き、そして我々古紙業界へも多少の分配を是非ともお願いしたいと思います。

現在我々の業界が全国レベルで取り組んでいる課題は、古紙の品質維持の為にJ-BRANDの確立、抜き取り問題の解決、自治体の超高値入札の解消という大きな3つの課題です。今後も更に燃料費問題、運賃問題等出てくるものと思いますが、本日はその辺の情報交換もさせて頂ければ大変有難いと思います。

佐野理事長 [静岡県製紙原料商業組合]

我々の業界では段ボールの発生状況を見る事が景気の動向を見る事に繋がる。静岡商組の5月の16社統計で段ボールの入荷を見ますと前月対比で95%、前年対比で100%と何とか5%減で切り抜ける事が出来ました。これからも気を引き締めていく必要があると思います。

静岡商組の50周年記念誌を各地区のメーカー、問屋等に幅広く配布させて頂いております

ので宜しくお願い致します。

古紙全般の市況について

赤染直納部長 [東京都製紙原料協同組合]

古紙全般の市況は、裾物3品は5月GW以降に発生が減っている。段ボールは4月、5月と入荷が落ちている。消費は上がっているが、在庫率が10%を切っている状態。新聞、雑誌は入荷が順調だが在庫は減少している。3品とも今後の予測は不透明である。

輸出状況は中国の白板が良くない。中国は製品在庫、原料在庫を持っており、今後の政策によっては輸出に影響が出るかもしれない。

家庭紙原料について

鈴木委員 [東京都製紙原料協同組合]

家庭紙古紙の発生がGW以降、減少している。要因としては①印刷用紙の国内出荷の減少②IT化により雑誌の発行部数が15年で半分になった。紙の需要が減少した。③メーカーにより機密古紙を使用している④印刷、製本業者の廃業が多い。印刷、製本会社がメインの古紙問屋も廃業が増えている。以上が、あげられる。

現在、ミックスの輸出価格は下がっているが、国内の雑誌価格よりは高い。タイトな状態が続いている。供給側は定期的に古紙の一定量をメーカーに納めるのがやっとの状態。今年は雨が多く冷夏と聞いているので、今後も発生は期待できない。

オフィス古紙について

高橋委員 [東京都製紙原料協同組合]

産業古紙の発生は減少している。東京23区のゴミの発生も減少している。オフィス古紙は国内を優先して納品しているが、雑誌より価格が高いので輸出に出ていってしまうのが現状である。

集荷について

近藤(昌) 副理事長 [東京都製紙原料協同組合]

5月のGW明けから発生が悪い。印刷会社や製本会社では廃業、倒産が増えている。上物ヤードの閉鎖も続いており、発生量の減少状態も続いている。当組合の組合員数はピーク時に350社が在籍していたが、今年は180社を切る状態。

分別費を考えると雑誌は輸出に廻すしかない。昨年までの原料価格の値下げがきつい。良いケントを作るには原料の値戻しが必要とされる。

静岡の状況について

[静岡県製紙原料商業組合]

上物古紙は印刷、製本業界の廃業、2社統合等で発生は減少傾向である。GW明けは特に前年と比べ減少している。6月、7月と増える可能性は少ないと思われる。

家庭紙原料の発生状況は悪く問屋在庫はランニングストック以下の状態。メーカーへの定期納入も100%は応えられない現状である。

家庭紙メーカーの現状

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

3月、4月は古紙の入荷が少なかった。3月は生産がピークだった。

4月はトラックの確保ができず製品の出荷が思うようにできなかった。

GW以降、製品の出荷が落ち込み始め、在庫が増えてきた。

6月、7月の在庫状況をみながら生産調整をしていくつもりである。

1年間のトータルで見ると昨年と同水準の生産と出荷量になるのではないかと。

6月は機密古紙の入荷が良い。品質面で苦勞している。

質疑応答

M：メーカー **G：原料問屋**

M-Q：UVインクを使用した古紙を利用できないか？

A-G：リサイクルが出来るUVインクが開発された。使用するのは印刷会社の判断なので使うかどうかは分からない。

価格が安ければ使用すると思う。見た目では区別がつかない。

G-Q：輸入品のトイレットペーパーが多く入ってきていると聞いたが、今後の古紙に影響が出ないのか？

A-M：前回の震災後は小売店が半年間等の契約をしたが今回は問屋が自主的に短期の契約をした。

3月～4月にかけて利用したが、今後は増えてこないと思われる。製品の価格修正に半年かかったので原料価格には影響が出ないと思われる。

G-Q：パルプ物と古紙物のシェアはどうなっているのか？

A-M：3月の単月では再生紙が不足し対応出来なかった為、パルプ物のシェアが増えた。4月、5月は再生紙が68%を占めている。

M-Q：洋紙メーカーの現状について

A-G：国内の洋紙メーカーの生産は増えている。国内メーカーの上物の引き合いは強い。全体に使用量が増えている。

昨年は3回、製品価格の修正が期待されたが、結果的に製品価格が下がってしまった。最近、燃料費や原材料の価格が上がっておりコストを非常に圧迫している。アベノミクスの円安の影響で、輸入紙が減り国内生産が増え、輸出の需要も出てきた。今が製品の価格修正に適した時期だと思われる。

東京返本加工協同組合

第49回 通常総会開催

東京返本加工協同組合 事務局記

去る、2014年8月21日(木) 東京ドームホテルの5階『初音』の間に於いて東京返本加工協同組合 第49回(平成25年度)通常総会が16時30分より開催されました。

総会に先立ち、16時より生産性向上設備投資促進税制についての講演が西川会計 西川豪康様より行われその後、通常総会の開催となりました。

ご来賓として、東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤勝様、出版共同流通株式会社 取締役蓮田センター所長 長田浩様、税理士法人 西川会計 西川豪康様にご出席を賜り、藤川理事の司会により総会が開会されました。

審議に先立ち、工藤理事長より冒頭、当組合員としてご活躍された故 脇様のご逝去に対し哀悼の言葉を述べられました。また出版業界の低迷に触れ、出版古紙に付加価値を付け認識を高め、役員一同力を併せて課題解決に取り組んで参りたいと挨拶がなされました。



続いて司会者より、組合総数22名、出席19名、委任3名であり、今総会が成立した旨の報告がなされました。

議長選出では、「司会者一任」と会場からの声により工藤理事長が議長に選任され審議に入りま

した。

今総会では、第1号議案～第9号議案（①事業報告、②決算報告、③剰余金処分案、④事業計画案、⑤収支予算案、⑥借入金残高及び債務保証最高限度額、⑦加工手数料、経費の賦課、加入手数料、⑧役員改選、⑨役員報酬）の案件が提案されており、全案件については議長並びに各理事より上程され、各議案ともスムーズに全会一致にて原案通りに可決されました。

事業報告では、雑誌プレス加工量 前年比95.6%、組合直扱い分 前年比88.85%と、前年を下回る厳しい扱い量となり業界全体がマイナス傾向にある中、取次会社のプレス化促進会議等への積極的な参画で、安定的なプレス化率を維持出来た事は成果であった事等が報告されました。

第8号議案、役員改選においては指名推薦の方法が取られ、満場一致の承認を以って現理事7名並びに現監事2名が再選されました。議案承認後、別室にて第一回理事会が行われ、理事の互選により代表理事（理事長）に工藤裕樹（㈱工藤商店）、副理事長に齊藤米蔵（㈱齊藤商店）、専務理事に羽山真（員外）が再選された旨、報告されました。

全ての議事終了後、ご来賓を代表して出版共同流通株式会社 取締役蓮田センター所長 長田浩様より祝意と雑誌ジャンル別動向や販売ルート別業量動向等にも触れ、出版界の厳しい状況下の中で既存プレス化拡大と新規商品のプレス化に返本組合と共に取組みたいとご挨拶を賜りました。

閉会の辞では、上田理事より50周年を迎えさらに取次各社様と改善を重ね組合事業を切り開いて行くとの決意と、組合員のご協力をお願いしたいとご挨拶がされました。

総会に引き続き開催された懇親会は、会場を42階『シリウス』の間に移し、日本出版販売株式会社代表取締役会長（出版共同流通株式会社 代表取締役会長兼任）古屋文明様、東京都製紙原料協

同組合 理事長 近藤勝様、をはじめ取次各社様、出版共同流通株式会社様、総勢57名のご出席により富澤理事の司会進行により総会懇親会が開催されました。



開会に当たって、工藤理事長より開会挨拶がなされ、引き続きご来賓を代表して、古屋会長様、近藤理事長様よりご祝辞を賜り、日本出版販売株式会社 取締役 高田誠様の乾杯の音頭で開宴となりました。宴中、日本出版販売株式会社様、栗田出版販売株式会社様、株式会社太洋社様、出版共同流通株式会社様、西川会計様、東京都中小企業団体中央会様、東京都製紙原料協同組合様よりご出席のご来賓の皆様のご紹介とご挨拶がありました。

余興として、「全国お取り寄せ 高級冷菓」大福引抽選会が行われ、出席者の中から大勢の方々が当選され、満面の笑顔で商品を受け取られ、皆様から盛大な拍手がおくられていました。



立食形式の会場では、各テーブルでいくつもの輪ができ、楽しい情報交換の場となりましたが、

宴たけなわの中、齋藤副理事長の中締めの挨拶をもって19時30分にお開きとなりました。

お忙しい中、総会ならびに懇親会にご出席を賜りました皆様、誠にありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

清風会研修会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

平成26年7月2日精養軒に於いて清風会恒例の研修会が行われました。今回は、元駐中国大使館参事官(防衛)関谷智幸 一等空佐より「中国人の性格(その歴史から)について」の講演がありました。



研修会後の納涼会は、例年までの夫人同伴は取りやめでの開催となりました。

美味しい料理を食べながら話も弾み、カラオケ等を交えて楽しいひと時が過ぎていき、閉会となりました。

直納部委員会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

日時：8月4日(月)

午後5時～直納部委員会

午後5時30分～納涼会

場所：上野・東天紅「海燕亭」 参加者：28名

8月4日(月)上野・東天紅「海燕亭」に於いて直納部委員会と納涼会が開催されました。

午後5時から直納部委員会が始まり、最近の古紙の市況説明がありました。その後は、日頃、組合の共販輸出にご協力いただいている(株)松本光春商店、国際紙パルプ商事(株)、日本紙パルプ商事(株)の3社より海外市況と輸出に関する説明がありました。

委員会終了後、納涼会となり楽しい歓談のひと時が過ぎていきました。

支 部 便 り

文京支部 納涼会を開催

文京支部長 齋藤浩二

平成26年8月8日(金)18時30分より、ピアホール銀座ライオン池袋西口店にて東京都製紙原料協同組合文京支部の納涼会が開催されました。当日は台風が接近していたこともあり一時雨が降り蒸し暑い一日でしたが、そのせいか店内は大変賑わっておりました。

まずは三弘紙業(株)常務取締役 森山様の司会で参加者紹介をしていただき、支部長(株)グリーン代表取締役 齋藤様からご挨拶を頂戴し、幹事を勤めていただいた辻三郎商店 辻様の乾杯の音頭により総勢23名の納涼会が開宴いたしました。「同じ会社の者同士は離れて座る」というルールのもと少し緊張しつつも、暑い夏にピッタリのビールや美味しいお食事をいただきながら、情報交換をしたり普段お会いできない方々とお話することができ、大変盛り上がった納涼会となりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は恒

例の写真撮影をしてもらい、大変有意義な時間を過ごすことができました。



台東支部 納涼会を開催

台東支部 近藤達也

平成26年7月16日、浅草・吾妻橋たもとのアサヒビルタワー「レストラン フラムドール」においてたち台東支部の納涼会を開催しました。近藤作一商店さんに会場の手配をしていただき、本部からは近藤理事長にお越し頂きまして、総勢8名が参加しました。

理事長による乾杯の音頭で始まり、美味しいビールに会話も弾み、店内の落ち着いた雰囲気・多彩な料理に大変満足しました。

最後はこの夏の厳しい暑さを乗り越えるとともに今後の組合の発展を祈願し、三本で締めました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

城南支部 納涼会を開催

城南支部・組合相談役 坂田秀一郎

去る8月9日(土)に城南支部は、近藤(昌)副理事長をお招きして、東京湾・隅田川の夜景を満喫しました。当日は天候にも恵まれ、和気あいあいのムードで“大型クルーザー”に乗船。今回はフランス料理と趣向を変えて全員満足の様子。

クルーザーの操縦は、「船清」の社長伊藤氏。船長のスタイルは洋式クルーザーにぴったし!!船長の帽子も格好いい!!「船清」は、船宿などと呼ばれる様な粋な造りであった。やっぱり船遊びは涼しい。船上では城南支部長坂田智氏の挨拶、近藤(昌)副理事長の乾杯でスタートしました。クルーザーの豪華さからみんな興奮ぞみ。当日の幹事は赤染副理事長、中田明氏でした。レインボーブリッジ、東京タワー、スカイツリー、移転する築地市場と間近に眺めながら料理を堪能致しました。

井出一之(会計)氏の発案の「ビンゴゲーム」で最高潮。福引に子供達も大喜び。時間もあっという間に過ぎて坂田相談役の手メで散会となりました。

子供も大勢参加、30名の大家族的な納涼会となりました。因みに大型クルーザーの展望席からのスカイツリーは印象深い味わいがありました。



江墨支部 納涼会を開催

江墨支部 木内茂樹

平成26年7月19日(土) 18:30～
錦糸町 うさ美 にて

参加者12名 青年部5名 計17名にて行いました。

本年もコンパニオンをまじえて楽しい納涼会となりました。江墨支部のメンバーも大きな事故、

病気も無く、全員が元気でこの猛暑を乗りきれた事、又下半期も無事故で頑張ろうと皆で決意をさせて頂きました。

江墨支部は益々団結をはかり、古紙業界発展のため頑張ってお参ります。

千代田支部 納涼会を開催

千代田支部長 近藤正彦

今回の納涼会は、屋形船で行いました。15名以上が貸切の対象となるので、何とか24名揃えました。

飲兵衛ばかりでカラオケを歌う人が少なく、又、遅刻した方もいて出航が遅れてしまい、スカイツリーの見学はキャンセルとなってしまいました。でも何とか行事を終える事が出来ました。



組合員の広場

組合事業紹介・事業部

(都市近代化事業組合の事業について)

新たに首都高速が割引運行できる事になりました！！

① ETCカード 魅力が倍増！

指定の高速道路が割引運行出来ます。そして新たに首都高速が割引で利用出来る事になりました。(ご利用の場合は新しいカード作成が必要です)

高速道路でポイントが溜まると、そのポイント分が無料走行で使えます。

② ガソリンカードのご利用メリットについて ご存知ですか？

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

ここのところガソリン価格が高騰しております。組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリン代を少しでも安く購入できる事業があります。

都市近代化事業組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと・・・全国平均と比べてハイオク・レギュラーガソリンが約3円ほど安く、軽油が約9円ほど安く購入できます。

(その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください)

専用のカードを作り、該当するスタンドで使用すると自動的に割引料金でカード決済されます。

共同購入についてのお知らせ

プレス機のオイル交換について

共同購入委員会

昨年7月より共同購入委員会で検討してきました第1号品目がプレス機のオイル交換に決まりました。組合を通じて通常より格安での交換が可能となります。

昨年実施した事業所は4ヶ所あり、処理のスピードや細かな対応について高い評判を頂いております。見積もりを取って比較して頂けると分かりますが、**1,000リッターのオイル交換で約5万円近い差が出ております。**

どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますようお願い致します。

手続きは簡単です。組合にご連絡いただき「プレス機オイル交換申込書」を受取り、必要事項をご記入し組合宛てにお送り下さい。交換時のレートは2ヶ月に1度変更されますので実施時にレートをご確認願います。尚、給油条件により追加金が発生する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

E T Cカード、ガソリンカード、プレス機のオイル交換のいずれも、東京都製紙原料協同組合に入されている組合員の皆さまの特権です。ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

連絡先： 東京都製紙原料協同組合
 電話 03-3831-7980
 F A X 03-3831-7880

組合会館テナント募集について

組合では現在、組合会館の2階のテナント事務所を募集しております。詳細は下記のとおりです。

場所：台東区台東3-16-1 製紙原料会館2階
 建物：鉄筋コンクリート造 4階建ての2階部分

面積：約32.13㎡（9.72坪）
 交通：日比谷線「仲御徒町」駅 徒歩2分
 J R山手線「御徒町」駅 徒歩5分
 賃料は合わせて周辺の相場価格に設定してあります。お申込み、お問い合わせは下記まで。

組合事務局 ☎ 03-3831-7980

♪ことわざミニ知識♪

「痘痕（あばた）もえくぼ」

好きになると相手の痘痕でもえくぼの様に見えるものだ。

惚れてしまうと、相手の欠点も長所のように見えるものである。

惚れているうちは良いが、覚めた時はどうなるかな。痘痕とは今で言うニキジミみたいな吹き出物の事。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 10月 7日（火）水道橋 菜の家
 支部会 11月 7日（金）水道橋 菜の家

中央支部

支部会 10月17日（金）きくち

文京支部

支部会 10月20日（月）東明飯店
 支部会 11月18日（火）寿し常本店

台東支部

忘年会 11月末予定 日にち・場所未定

荒川支部

支部会 予定は未定

足立支部

支部会 10月25日（土）北千住

山手支部

支部会 10月18日（土）鮭やなぎ
 支部会 11月18日（火）鮭やなぎ

城南支部

支部会 10月 7日(火) 大崎出張所

江墨支部

10月・11月支部会は未定

城北支部

支部会 10月予定 日にち・場所は未定

お 知 ら せ

[10月会議・催事予定]

10月 1日(水) センター業務委員会(pm2:15～)

〃 全原連役員会(pm3:30)

古紙センター会議室

10月 3日(金) 共販輸出検討委員会(pm3:00～)

〃 常任理事会(pm3:30～)

理事会(pm5:00～) 組合会議室

10月 8日(水) 清風会ゴルフコンペ

東茨城郡「オールドオーチャード

ゴルフクラブ」

10月 9日(木) 古紙センター・紙リサイクル

セミナー(pm1:30～pm3:55)

星陵会館 350名

10月 21日(火) センター関東地区委員会

(pm2:00～) センター会議室

10月 29日(水) センター業務委員会(pm2:15～)

〃 全原連役員会(pm3:30)

センター会議室

[古紙価格]**[東資協の古紙4品の標準売値]**

平成26年8月10日現在

新聞 8円～12円(下値下降・上値上昇)

雑誌 6円～9円(上値上昇)

段ボール 8円～11円(上値上昇)

色上(並) 6円～9円(上値上昇)

[組織変更] 代表者変更

・台東支部:(株)山室 代表者 畑 俊一

→ 新代表 畑 純一(代表取締役社長)

・城南支部:(有)坂田亮作商店 代表者 坂田

智→新代表 坂田 亮(代表取締役社長)

坂田 智(代表取締役会長)

[訃報]

・荒川支部:栗原紙材(株)代表者 栗原正雄様のご母堂 栗原とく様(享年98)が平成26年6月3日にご逝去されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

会 議 概 要 [6月・7月]

6月度定例理事会

[平成26年6月3日(火)] pm4:00～

出席理事22名・監事0名 於) 組合事務局

近藤理事長挨拶

今日、四国、九州が梅雨入りで東京も間もなく梅雨入りになりそうですが、連日猛暑が続く中、6月の役員会にご出席を頂きまして有難うございます。

長年、山手支部から理事として組合にご尽力頂いた脇さんが、先月28日にお亡くなりになりました。急な事でただ驚いているばかりでございますが、明晩お別れの会があるとの事ですので最後のお別れに大勢の皆さんのご参列を宜しくお願い致します。

さて、先月は第58回の総会、第52回の永年勤続表彰が無事に終了致しました。皆様のご協力有難うございました。これからの一年間、支部交流の活発化、又、共同購入の充実に更に力を入れて

行きたいと思います。又、昨日、一昨日と箱根湯本へ役員のご苦労さん会に行ってお参りました。大分飲み過ぎた方も多かったようですが、昨日の有志によるコンペでは見事、梨本さんが優勝でした。私は二日酔いで散々なゴルフでした。

産業古紙の発生は4月、5月と減少を続けてお参りまして44社の在庫も前月比、前年比共に減少しております。家庭紙製品は大変順調で價格的にも、数量的にも上向している中、今月は静岡県紙業協会との会合があります。是非とも大勢のご出席をお願いします。

最後になりますが、当組合の顧問であります松原議員の政治資金パーティーが30日にホテルニューオータニで開催されます。出席の要請が参っておりますのでお時間のある方は是非ともご協力をお願い致します。

[各部報告]

[総務部]

組合会館2階テナント募集について広報誌に募集記事を掲載する。

[直納部]

共販輸出は3社による入札があった。結果は(株)松本光春商店が国内より高値で落札した。仕向地は中国で業者の報告では「弱含みの市況だが発生減で低位安定に向かうのか」との事。また他社のコメントでは①「白板の生産需要も少なく全般的にマーケットは静かである。中国メーカーも生産を減らしており購入を控え様子見姿勢が強い」②「中国向けは段ボール古紙が反転しているが、その他の品種は依然、弱含み。中国の製品市況は低調。6月が底値だと思われたが價格が回復するには時間を要す可能性がある」との事。

輸出價格ではミックスの下げ幅が大きい。

[品目別]

[段ボール] 段ボール原紙の在庫は減少傾向。メーカーは生産調整と消費税増税の駆け込み需要

により古紙消費は低下状況。

輸出價格は上昇している。

[新聞、雑誌] 新聞の発生は悪い。国内メーカーからの発注は少なくプレミアム價格が下方修正されている。

雑誌は製品の販売が不振で需要は弱い。輸出價格は下落している。今後、問屋仕入價格の調整があると予想される。

[家庭紙] 発生は悪い。家庭紙は7月の岳排に向け生産は旺盛。製品價格は上昇しており古紙原料價格はこのままでいいのか模索される。

[特更] 原料を集めるのに苦労している。家庭紙よりタイト。

[台紙] ほとんど変わらない。

[オフィス系] 5月の発生は落ちている。

[返本関係] 5月は発生が悪かった。返本は消費税増税で本の價格が上がっても影響がなかった。

[集荷部]

発生は5月の連休明けから少ない。製本、印刷会社は土曜に休んでいる所が多い。

[広報部]

広報誌は6月号(総会号)の制作中である。5月の総会と永年勤続従業員表彰の記事が中心であるが、他に3月の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会の記事を掲載予定。又、各支部で行なわれた支部総会を掲載予定。脇元監事の最後の原稿も掲載予定である。

[事業部]

このところガソリンが高騰している。この機会にガソリンカードを多く利用してほしい。

7月の清風会講演会で元駐中国大使館参事官(防衛)関谷智幸 一等空佐に「中国人の性格(その歴史から)」を講演してもらう。

[青年部]

6月10日(火)幹事会と部会を組合会議室で行う予定。

[近代化推進委員会]

5月22日全原連の総会前に各委員会を開催したが、特筆するものはなかった。

「協議事項」**・家庭紙メーカーの古紙センター加入について**

古紙センターとしては日本の古紙全体を把握したい。その為、まだ古紙センターに加入していない家庭紙メーカー、せんかメーカー、輸出メーカーの中から比較的規模の大きい家庭紙メーカーに加入を勧めたい。

加入するに当たり加入費（メーカー、問屋が負担）がかかる問題点がある。

家庭紙メーカー側の加入メリットの追求と、組合としてどう対処するかを今後、理事会等で討議していく。

・理事会日程

9/4（木）、10/3（金）、11/5（水）は組合会議室、12/4（木）は上野精養軒で終了後、清風会忘年会

古紙センター関東地区委員会

[平成26年6月18日（水）] pm1:45～
於）古紙センター会議室

[需要動向] 14/5月 単位トン、
（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	61,863(96.4%)
	出荷	63,471(97.5%)
	在庫	9,183(14.5%)
[雑誌]	仕入	53,779(93.2%)
	出荷	55,373(92.3%)
	在庫	9,473(17.1%)
[段ボール]	仕入	130,004(104.4%)
	出荷	130,345(103.4%)
	在庫	12,558(9.6%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	217,123(98.8%)
	消費	220,941(101.4%)
	在庫	168,593(76.3%)
[雑誌]	入荷	107,759(93.1%)
	消費	114,254(100.6%)
	在庫	60,046(52.6%)
[段ボール]	入荷	296,436(104.0%)
	消費	302,436(110.8%)
	在庫	110,308(36.5%)

[業者側コメント]**[新聞・雑誌・段ボール]**

5月の発生は段ボールが昨年並み、新聞が減少しチラシの減少が著しい。雑誌の発生は悪く前月と前年を大きく割っている。3品合計で在庫は適正在庫を下回っている。6月の発生は非常に悪い。輸出は中国の買いが積極的ではない。

[上物古紙]

上物古紙の6月の発生は5月に引き続き低調。機密古紙は発生期。家庭紙原料はメーカーによりまちまちの在庫状況。需給は、ここへきて一服感。上物古紙の在庫はかなり少ない状態で家庭紙向け、DIP向けと引き合いは強い。

[メーカー側コメント]

新聞は安定在庫を維持。発注は横ばい。入荷は5月中旬から堅調で以降はペースダウンしている。新聞の購買は弱い状態。

雑誌の入荷は5月まで堅調で6月に入り少なくなってきた。しかし在庫ポジションは問題ない。段ボールの仮需の反動は予想より軽かった。古紙は5月後半に入荷のペースが落ちて、在庫は横ばい。6月は通常に戻したが入荷は悪い。

集直合同委員会

[平成26年6月18日(水)] pm4:30

於) 組合事務局

出席委員16名(直納12名・集荷4名)

市況全般について

家庭紙メーカーの4月、5月の生産は順調。メーカーにより在庫を持ち始めたところや適性在庫のところも出ている。家庭紙原料は全体に減少している。6月は雑誌が前月と前年割れとなり印刷、製本不況の影響でタイトになっている。

家庭紙について

6月からの生産調整などの影響が一部メーカーで見られ、荷受け調整を散見されるようになっていいる。スポット価格により古紙の調達も一部継続しているようだが対応もメーカーにより二極化している。5月連休明けより印刷、製本会社からの発生は落ち込み、国内大手洋紙板紙メーカーの上物の引き合いが強い。輸出が夏場に再度反転する可能性を含め、家庭紙メーカーは製品の流れが鈍化傾向であっても、原料調達は当面手を緩めない気配。

集荷の状況

5月の連休明けより発生が悪い。集荷量は予定数量に満たない状況。印刷、製本会社は休みが多く仕事が少ない。廃業も多く出ている。

各社の状況

- ・5月の連休明けより発生が悪い。
- ・在庫はランニングストック状態。
- ・メーカーへの納入は順調。
- ・古紙の引き合いは強い。

対策

市況説明をして、現実を見据えた感覚で今後の原料対策を進めてもらいたい旨を話す。

古紙センター業務委員会

[平成26年6月19日(木)] pm1:45～

於) 古紙センター会議室

- [1] 定時評議委員会報告について
- [2] 委員会規程の一部改正について
- [3] 賛助会員規程の一部改正について

*古紙の需要・市況動向についてはページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連 平成26年度 第3回理事会報告

平成26年6月19日(木) 15:00～16:00

古紙再生促進センター

理事・監事64名:出席64名

(内、委任出席31名)欠席0名

I. 主要議題

1. J-BRANDラベル普及及び関係規則の付則一部削除 上程承認
 - ・次回理事会までに各地区委員長宛てに協力要請文を古紙センターと協議、作成して古紙センター理事長名で発送をする。
 - ・7月の経営革新委員会でJ-BRANDラベルの貼付マニュアル再確認
 - ・付則5 削除
2. 古紙リサイクルアドバイザー認定試験実施要領の整理 上程承認
 - ・受験資格及び認定試験受験方法に係る事項について
3. 古紙商品化適格事業所認定申請 上程承認
 - ・適格事業所 新規(1社 1事業所)
4. 古紙持ち去り行為への対応
 - ・自治体から提出された情報を各組合から組合員へ周知徹底する
 - ・関東商組、中部商組の動きに同調してやっていくように近畿商組へ要請

Ⅱ．各委員会活動報告

4委員会の委員長または代理による報告

Ⅲ．その他報告事項

・経済産業省との懇談会

高値入札に関する対応として今年7月中旬に
文案の作成と送付先自治体の取りまとめ。

・安全DVDの注文受付

7月度定例理事会

[平成26年7月2日(水)] pm 4:00

於) 精養軒「銀杏の間」

出席理事29名・監事0名

近藤理事長挨拶

心配された仮需反動もなく3ヶ月が経過しました。交通機関の値上がりも最近はいかを使っている
ので良く分らず、静岡の家庭紙3団体懇談会に
行った時、新幹線の切符を買って初めて値上げを
実感して参りました。

先月開催されましたいくつかの会議の内容を報告
を致します。関東地区委員会、業務委員会等では
今後の問題として運転手不足や燃料の値上げ等から
運賃コストの見直しがあるであろうという事、
又、全原連ではJ-BRANDのシールを代納店
は貼付しなくてもよいという事、安全DVDの普
及についても組合でまとめて購入する様依頼され
ました。

昨年から今年にかけて栃木県ではパッカー車に巻
き込まれた死亡事故が2件発生し、又、関西では
最近ペーラーのコンベアーに挟まれたという死亡
事故、そして中に入ったままプレスされてしまっ
たという死亡事故が発生しております。是非、ペー
ラーやパッカー車を使用している方はこのDVD
を購入して社員研修をして頂きたいと思ひます。
又、東リ協では依然、行政回収の高値入札が続い
ていることの報告や、7月14日の「リサイクル

フォーラム」への参加要請がありました。家庭紙
3団体懇談会の様子につきましては後ほど直納部
より報告があります。本日は理事会、そして、そ
の後の清風会と長時間になりますが、宜しくお願
い申し上げます。

[各部報告]

[総務部]

組合会館2階テナント募集について広告チャネル
を広げる。

[直納部]

共販輸出は3社による入札があった。結果は国際
紙パルプ商事(株)が国内より高値で落札した。
仕向地は中国で業者の報告では「中国向けは各品
反転しております。当地における古紙発生減、国
内外の需要増により強含みで推移していますが、
欧米産古紙の対中価格の値動きが鈍いことから上
値は重い状態です」との事。また他社のコメント
では①「メーカーにより古紙在庫にバラつきはあ
るものの、夏場の不需求期をむかえ生産は下降ぎ
み」②「発生少なめだが引き合いは弱い」との事。
輸出は5月～6月の弱含みが、若干、反転してき
た。中国メーカーは製品在庫が減少している。東
京協組44社の上物古紙の在庫では前月割れ、前
年割れとなっている。家庭紙メーカーへの古紙納
入は、おおむね順調である。各メーカーとも製品
在庫が増えつつある。

[品目別]

[段ボール] 発生は少ないが国内メーカーの消費
減少。段ボール原紙在庫は増えてきている。製品
は消費税増税の影響はなく、6月の出荷は横ばい。
輸出価格はやや上昇。

[新聞、雑誌] 新聞は国内大手洋紙メーカーの古
紙在庫が適正水準となってきている。海外市況は
米国品、欧州品、日本品とも取引は活発ではなく、
日本品は雑誌価格と連動し若干、値を上げている。
消費税増税後、消費が低迷しており必要量以上の

原料調達は行われなれないと思われる。

雑誌の国内市況は輸出価格の下落により問屋サイドは仕入単価を下げたいところであったが、梅雨時のため発生が悪く単価を下げられない問屋が目立っている。残本古紙の発生も減少しており需給も徐々にタイトな状態となっていると思われる。海外市況は、雑誌古紙の発生の低迷状態が続くようであれば、再びプレミアム価格が出てくるのではないかと思われる。

[オフィス系] 機密古紙は家庭紙メーカーにより使用にバラツキがある。上物古紙の発生は悪く一部メーカーは生産調整するかもしれない。

[返本関係] 6月の発生は前年比10%減。回復する見込みは薄いと思われる。コンビニの雑誌販売が悪い。

[集荷部]

発生は良くない。製本、印刷会社は休みが多く仕事が減っている。

[広報部]

広報誌は6月号(総会号)が6月下旬に届いたと思う。6月号より広告ページに矢崎エナジーシステム(株)が年間掲載する事になった。先日、広報誌9月号の打ち合せをした。各支部での納涼会や活動報告、日程、組合員の広場に随筆などを投稿してほしい。

[事業部]

このところガソリンが高騰している。この機会にガソリンカードを多く利用してほしい。

[青年部]

7月8日(火) 暑気払いの開催: 聖路加タワー

「RESTAURANT LUKE」

7月26日(土) 印刷産業青年連絡協議会の移動サロン&納涼会: DICグラフィックス(株)・コダック合同会社工場見学

納涼会-東池袋「かこいや」

9月9日(火) IT勉強会

[近代化推進委員会]

5月22日全原連の総会前に各委員会を開催。各議事録を参照してほしい。

[支部報告]

納涼会: 千代田(9/8 屋形船)、文京 8/8、台東 7/16、荒川(8/30 屋形船)、足立 8/19、城南 8/9、城北 7/15

研修旅行: 山手9月「熱海」

[協議事項]

- ・脱退申請 荒川支部: 書面はまだだが(有)大口商店(代表者 大口義仁)が廃業のため7月末で脱退予定。
- ・すそ物の共販輸出: 9月の常任理事会で詳細を決めていく。
- ・共同購入品の品目募集
- ・全原連で作成した「古紙処理作業の安全のためのDVD」活用をお願い。申込みは組合事務局へ。
- ・東リ協のリサイクルフォーラム参加への再度のお願い。

古紙センター関東地区委員会

[平成26年7月17日(木)] pm 4:00～
於) 古紙センター会議室

[需要動向] 14/6月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	60,629(99.4%)
	出荷	60,815(98.0%)
	在庫	8,997(14.8%)
[雑誌]	仕入	48,033(94.2%)
	出荷	49,385(94.3%)
	在庫	8,121(16.4%)
[段ボール]	仕入	125,230(103.8%)
	出荷	126,410(103.9%)
	在庫	11,378(9.0%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕	入荷	199,460(96.8%)
	消費	218,976(104.6%)
	在庫	149,077(68.1%)
〔雑誌〕	入荷	106,119(99.8%)
	消費	115,998(97.1%)
	在庫	50,163(43.2%)
〔段ボール〕	入荷	295,698(107.4%)
	消費	305,299(98.2%)
	在庫	100,707(33.0%)

〔業者側コメント〕**〔新聞・雑誌・段ボール〕**

6月の発生はダンボールが若干の増加、新聞は横ばい、雑誌は低調。7月～9月の発生予測は段ボールが横ばい、新聞は減少傾向、雑誌は横ばいか増加。

〔上物古紙〕

上物古紙の6月の発生は引き続き低調。オフィス系古紙の発生は7月に入り減少。家庭紙メーカーは4月以降、製品在庫が増えてきており2度目の価格修正を期待しているところ。家庭紙向け古紙は落ち着いてきたが、DIP向け古紙は引き合いが強い。消費税増税前後の3月、4月に、紙問屋は販売店に対し供給責任のため輸入品による製品手配をした。6月の東京協組の上物古紙在庫は家庭紙向け、DIP向けとも前月比、前年比を下回っており今年2月並みの低水準である。

〔メーカー側コメント〕

新聞は6月の入荷は悪く、7月の発注は横ばい。雑誌の6月、7月の発注は横ばいで入荷は悪い。段ボールの生産は、6月に若干の増加で7月は前年並み。古紙原料は入荷が未納ぎみ。在庫は5月～7月にかけ下げ基調。

古紙センター業務委員会

〔平成26年7月30日（水）〕 pm2：15～
於）古紙センター会議室

- [1] 平成26年度紙リサイクルセミナーについて10月9日（木）星陵会館ホール
13：30～15：55 350人程度
- [2] 日中交流事業 第3回日中古紙セミナーについて 11月18日（火）～21日（金）
- [3] 集団回収実施団体への感謝状交付について（近畿地区委員会、中四国地区委員会推選）
- [4] 機密情報抹消事業協議会の発足について
- [5] 平成26年7月～12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

*古紙の需要・市況動向についてはページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連 平成26年度 第4回理事会報告

平成26年7月30日（水）15：30～17：00
古紙再生促進センター

理事・監事64名：出席65名
（内、委任出席33名）欠席0名

I 主要議題**1. 高値入札に関する対応**

自治体に入札資格の設定を要請するための文書内容（資料1）の確認
（各地域組合に持ち帰り次回理事会までに確認する）

要請対象は入札を実施している自治体に限ることとし、各地域組合は対象自治体の調査を行う。調査結果を8月末までに事務局あてに通知する）

2. J-BRAND表示ラベル貼付マニュアル
古紙商品化適格事業所が代納をする場合、ラベルの特記事項に代納会社名を記入する。

ラベル発注についてリードタイムを20日間 → 10日間へ変更

古紙商品化適格事業所外事業所のラベル貼付について

全原連は関係製紙会社にプライベートラベル貼付指示徹底を依頼する。

3. 古紙を直接輸出している全原連加盟事業者名簿の作成依頼（古紙センターの依頼）

事務局から名簿作成依頼を行う。

各地域組合で取りまとめる。（古紙センターに輸出委員会が発足したため）

4. 古紙リサイクルアドバイザー及び古紙商品化適格事業所認定申請 上程承認

・古紙リサイクルアドバイザー（55社 155人）

・適格事業所（1社 1事業所）

II 各委員会活動報告

・経営革新委員会（7月25日開催）

J-BRAND今年度内に全国実施予定

・IT推進委員会

10月16日仙台にて委員会開催予定

・渉外広報委員会

年内に委員会を実施する予定

III その他報告事項

1. 業務委員会（7月30日開催）

酒造組合からマルチパックを禁忌品から除外して欲しいと要請があった。

古紙品質規格専門委員会の見直し案について、各地区委員会で意見を集約し10月1日の業務委員会へ上程する。

10月9日 13:30～星陵会館 紙リサイクルセミナー開催（古紙センターより後日案内される）

11月19日 時間未定～星陵会館 第3回日中古紙セミナー開催

（ " ）

機密情報抹消事業協議会の発足 8月20日迄に参加者を募る。9月に発会式をやる。

詳細はHPで

< HP : <http://www.kjmjk.com> >

2. 平成26年度運営体制（組織図）

紙センター関東地区委員会

[平成26年8月20日（水）] pm 4:00～

於）古紙センター会議室

[需要動向] 14 / 7月 単位トン、

（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率

「関東商組 32 社実績」

[新聞]	仕入	63,052(96.9%)
	出荷	62,275(97.7%)
	在庫	9,774(15.7%)
[雑誌]	仕入	48,682(97.1%)
	出荷	47,785(96.0%)
	在庫	9,018(18.9%)
[段ボール]	仕入	130,655(101.3%)
	出荷	129,767(102.3%)
	在庫	12,266(9.5%)

「関東・静岡実績」

[新聞]	入荷	211,760(98.7%)
	消費	210,183(100.4%)
	在庫	150,654(71.7%)
[雑誌]	入荷	105,487(94.2%)
	消費	109,676(93.6%)
	在庫	45,977(41.9%)
[段ボール]	入荷	305,741(96.0%)
	消費	310,093(96.4%)
	在庫	96,355(31.1%)

「業者側コメント」

[新聞・雑誌・段ボール]

7月の発生は段ボールが前年並みで、新聞・雑誌は減少。特に新聞の減少に歯止めがきかない状況。

日本品は品質が良く、輸出先の購入意欲はある。

[上物古紙]

上物古紙の7月～8月の発生は低調。特に家庭紙向けが減少。東京協組44社の上物在庫は家庭紙が前年並みで、DIP向けは前年比で大きく減少しており、模造、ケントの減少が目立つ。

[メーカー側コメント]

段ボールの7月の生産は前年並み。仮需の反動は6月～7月で解消された模様。段ボール古紙の発生推移は、発注は横ばい、生産は6月からさかのぼり順調、在庫は6月～7月に減少し8月は横ばい。9月は消費が多くなり発注が増加すると思われる。

新聞の7月の注文量は横ばい。入荷は低調。消費は印刷・情報用紙は減少。在庫は7月に比べ減少しており、新聞古紙の調達が難しい。

雑誌の7月の入荷は低調、消費は堅調、在庫は減少。8月は入荷低調で消費減、在庫は7月よりは上がる見込み。

広報誌掲載の広告募集について

*組合では、広く業界関係各社から広報誌の広告掲載を募集しております。

広告スペース、場所、料金等の詳細につきましては、組合事務局までお問い合わせください。

広報誌 表紙写真募集の件

広 報 部

皆様には日頃より組合活動にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて広報誌の表紙は、従来、特定の組合員様のご協力で写真を提供して頂いて参りました。

しかしながら諸般の事情により、今後その写真の利用ができなくなりました。

そこでこの機会に、組合員の皆様から表紙を飾る写真を公募したいと思います。

下記の要領で、奮って写真をご応募ください。お待ちしております。

募集要項

募集写真：白黒またはカラー写真

焼き付け または 添付ファイル

題 材：風景、季節、催事を扱ったもの

提出時期：随時

提出先：

〒110-0016 東京都台東区台東3-16-1

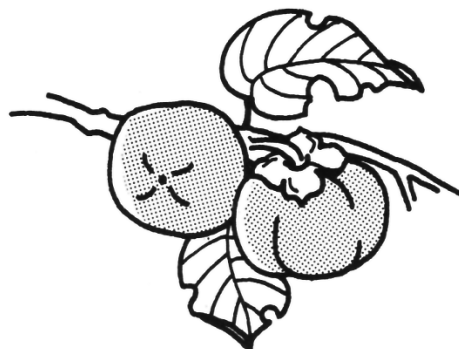
東京都製紙原料協同組合 事務局

TEL 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

E-mail: info@kosi-tokyo.or.jp

ご質問等は、事務局までお気軽にご連絡ください。



編集後記

広報部副部長 武田誠一郎

処暑を過ぎ、ようやく過ごし易くなってきましたが、まだ蒸し暑さが残る日々が続いています。各地では、前線停滞による集中豪雨により甚大な被害が出ていますが災害に対する警戒感が少なすぎるように感じられます。

過去にも大きな災害が出たことがある地域では、教訓を積んで対策を講じておくべきだと思います。

この度の豪雨で被災者の身内や自宅を失ったショック、避難生活の心労を憔悴しきった事を拝察します。

この度の豪雨で亡くなられた方々にお悔やみを申し上げます。そして被害に遭われた方々には、お見舞い申し上げます。

組合総合名簿の協賛広告について

広報部

この度は、組合総合名簿の協賛広告にご協力いただき誠にありがとうございました。

広報誌では昨年の11月号より2年間に渡り、今回ご協力頂きました企業・団体に対し1回ずつ無料で広告掲載をさせていただきます。掲載の順番や掲載ページは、こちらの都合で行いますのであらかじめご了承ください。(広告を掲載した号の広報誌は、該当の企業・団体にお送りいたします)

今回は、紙関係の商社、出版・雑誌・書籍関係でご協力いただいている会社を掲載いたしました。尚、**有料での掲載も可能ですので、ご希望の際は組合までお申し出ください。料金等は下記のようになります。**

<広告料金について>

広報誌は、1月号、3月号、6月号、9月号、11月号の年5回発行しております。

掲載と同じ2分の1ページの広告を掲載した場合
年1回の掲載：14,000円

年2回の掲載：26,000円(13,000円×2回)

年3回の掲載：36,000円(12,000円×3回)

年4回の掲載：44,000円(11,000円×4回)

年5回の掲載：50,000円(10,000円×5回)

掲載ページにつきましては広告数によりますが、最終ページに近い順に掲載する予定です。

お申し込みは、東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880